【上級情報処理士】教育課程　到達目標達成度評価表（提出用）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 資格到達目標 | 開発能力 | 具体的な学修目標 | 学生自己評価（項目別）レベル | 学生自己評価（領域別）総合評価 |
| 領域１　情報社会において情報を適切に扱う知識・技能・働く基本能力をもち、他者への思いやりをもった実務を論理的・倫理的に実践する重要性を理解している。 | 1-1情報社会における情報の知識 | ①情報がもつ特性、その表現方法を理解している。テキスト・画像・動画・音声など多様なデジタルデータの保管や扱いについて説明できる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ②マスメディアやインターネット上の多様な情報コミュニケーションの手段とその特性、社会的役割や影響を理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| ③デジタル技術による社会の発展の可能性やリスクを理解し、著作権・個人情報保護・プライバシー、サイバーセキュリティ等について説明できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-2情報社会において情報を扱う技能 | ④マスメディアやインターネット上で表現された情報の意味や発信者の意図を批判的・客観的に正しく評価し、それを踏まえて情報を有効に活用できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑤論理的で説得力のある文章・レポートを作成できる。情報を可視化し、的確に伝えるためにグラフ・図を工夫して作成できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑥テキスト・画像・動画・音声などのマルチメディアを活用し、ユーザインターフェイスを考慮して、資料やWebコンテンツを構想、作成できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-3情報社会において情報を扱う態度 | ⑦必要な情報を収集し、客観的情報に基づき、論理的に判断できる。他者の考えを踏まえ、自分の考えが客観的に適切かどうかを判断できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑧情報倫理を理解し、インターネット上で情報共有者、発信者として適切に行動できる。自分の行動が、社会とのコミュニケーションにおいて、どのような意味や価値をもつかを判断できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域２　情報科学の知識と技能を理解・修得した上で、それらを実務に適切に活用する実践力を有し、成果を出すことができる。 | 2-1コンピュータとネットワークの知識と実践 | ⑨コンピュータや情報技術の基本原理を踏まえて、ハードウェアとソフトウェアの関係を理解し、デジタル情報を活用できる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑩コンピュータネットワークの基本原理を理解し、その上の情報の流れとコミュニケーションの特性、情報セキュリティ技術に関する知識を有して情報社会のリスクに対応することができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-2プログラミングの知識と実践 | ⑪データ構造やプログラミングについて理解し、問題解決のためにプログラムの設計・作成を行い、テスト実行し、要求仕様に基づいて修正することができる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑫状態遷移図やデータフロー図などモデル化の手法を活用し、諸課題に対するアルゴリズムを検討・考案し、構築することができる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑬システムの設計・構築・評価・運用のための標準的手法を理解し、起こり得る問題やその対処方法、システム開発プロセスについて知っている。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-3データサイエンスと人工知能（AI）の知識と実践 | ⑭データの記述や統計分析など、データサイエンスの基本技術を理解し、活用できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑮機械学習を中心とした人工知能(AI)技術を理解し、AIによって何が可能になるか、社会にどう影響するかわかる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑯統計的手法や、人工知能(AI)技術によってデータを解析し、実際の問題解決に活かせる。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域３　情報社会において、対象となる課題を発見・分析し、客観的に捉え、創造的に解決する基本能力を身につけている。 | 3-1課題解決の技能 | ⑰身近な状況の中から課題を発見し、効果的な手法を活用して、課題を解決することができる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑱コミュニケーションの本質を理解し、集団の前で効果的にプレゼンテーションができ、また共同作業において様々な目的で話し合いができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 3-2課題解決の態度 | ⑲グループ活動において、相手の立場を理解して合意点を探り、協調でき、必要に応じてリーダシップを取るなど、適切に活動できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑳社会の変化を感知し、学びを継続して自分のライフキャリアを考え続けることができる。 | 5・4・3・2・1 |

〇評価結果の全体振り返りと今後の自分の開発能力と学修課題について（300字程度 学生記入）

|  |
| --- |
|  |

教職員提出確認

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大学ｺｰﾄﾞ |  | 大学名 |  | 学部・学科 |  |
| 学籍番号 |  | 氏名 |  |